

平成 23 年度第 1 回「健康日本 21 福岡市計画」推進会議議事録（要旨）

- 1 開催日時 平成 23 年 11 月 29 日（火）13:30～15:00
- 2 開催場所 天神クリスタルビル 3 階 大ホール
- 3 会議次第

- 1 開 会
- 2 議 題
 - 議題 1 平成 22 年度「健康日本 21」の実績について
 - 議題 2 平成 23 年度「健康日本 21」の計画について
 - 議題 3 各種健診事業について
 - 議題 4 「第 2 次福岡市食育推進計画」について
 - 議題 5 健康づくりセンター見直し委員会提言について
 - 議題 6 「健康日本 21 福岡市計画」次期計画策定について
- 3 閉 会

- 4 出席委員 健康日本 21 福岡市計画委員 36 名（代理出席を含む。）
欠席委員：高島宗一郎会長、守山正樹副会長、今里滋委員

- 5 報道機関取材者及び傍聴者
報道機関：無 傍聴者：1 名

- 6 議事概要
 - 議題 1 平成 22 年度「健康日本 21」の実績について
 - 議題 2 平成 23 年度「健康日本 21」の計画について

（質問・意見）

- | | |
|-----|--|
| 委員 | 健康チャレンジキャンペーンに対しての反響はどうか。盛り上がっているか。 |
| 事務局 | 現在、応募件数は 200 件程度。12 月末までの受付のため、応募はまだこれからだと思われる。 |
| 委員 | 福岡・釜山健康づくり交流事業について、釜山市との達成度等についての事業評価はどのようになっているか。 |
| 事務局 | 歩数・体重・腹囲等について、参加者平均で釜山市と競った。結果は、歩数は、福岡市 104,32 歩、釜山市 9,324 歩、体重は、福岡市 0.2 kg 減、釜山市 1.5 kg 減、腹囲は、福岡市 2.1 cm 減、釜山 |

市 2.8 cm減と、歩数を除いて釜山市が福岡市を上回った。

釜山市では、この事業をさらに強化していくために、1530運動（イチゴサンマル運動：1週間に5日30分歩く）と名付け、実施していくことになったと聞いている。

委員 11月7日に、鹿児島市において九州ブロック各県の地区衛生組織会議があった。福岡市衛生連合会も出席した。他県の衛生組織は環境問題への取り組みが中心になっていたが、福岡市は健康づくりに特化して取り組んでおり、福岡市は地域での健康づくりが他と比べて進んでいるという認識を持った。

議題3 各種健診事業について

- (1) 特定健診・特定保健指導の実施状況について
- (2) 福岡市のがん検診事業について
- (3) よかドック30&ヘルシースクールについて

(質問・意見)

委員 よかドック30は23年10月スタートということによいか。受診状況についても出足はよいということか。

事務局 そのとおりである。

委員 今朝、テレビで、健診の受診率が悪いため、人が集まるパチンコ屋で出張健診をしている都市があるというニュースを見てびっくりした。どこの地域でも健診の受診率向上の取り組みが大変だと思った。

委員 住みやすいまちをつくるために、地域、住民の健康づくりは重要であるが、健診の受診率には全国差が出る。一般的に、西低東高の傾向があると言われており、西日本は低い。東日本は健診を受けることが当たり前という意識がある。そのようなムードを作っていくことが大事だと思う。

委員 特定健診スタート時には、各種のキャンペーン等の取り組みを行ったと思うが、受診率は微増で50%に届かず、全国平均と比べても低い状況にあるが、この原因と対応は考えているのか。

事務局 東日本の受診率が高いということで、他都市調査等も行ったが、特別な対策を行っているというわけではないようだ。やはり一つは住民の健診受診は当然という意識が強いことがあるようだが、理由

は今一つわからない。

福岡市でも受診の重要性のPR、受診したい人への情報提供、受診できる環境整備等、ステージ別の対応をしていきたい。

委員 全国に先駆けて、健康づくりセンターをつくった時は、健康づくりの方向に意識も向いていたと思うが、最近は盛り上がり欠けており、思い切ったことをしないとだめではないかと思う。知恵を絞っていく必要がある。

健診について、初年度は受診率が伸びず、いろいろな取り組みをして盛り上がったが、その後はしぼんでしまったということだろうが、どうか。

事務局 健診は年度の前半は伸びず、後半に受診するという傾向が出ている。年度の早期の受診を図るため、秋の受診促進キャンペーンや誕生日に未受診者へのダイレクトメールの送付などを行っている。

受診促進キャンペーンは成果が出始めているので、状況を見守りたい。

その他の対策について、いろいろなご意見をいただきながらすすめていきたい。

委員 健診の受診率向上には、持続した取り組みが必要で、成果はすぐには出ないものだ。東日本の受診率の高さにも、過去の取り組みの蓄積があるはずで、受診率を上げていくためには人と時間をかけて継続して取り組んでいくことが必要である。

議題4 「第2次福岡市食育推進計画」について

(質問・意見)

委員 こどもの食育も改善しているが、学校での取り組みも進んでいるのか。

事務局 学校でもよく取り組んでおり、改善している。

委員 若い人の低体重が多いということだが、地域での献血事業においても、体重や比重が基準に達しないために、献血できない人が多い。

事務局 若い世代の低体重については、スタイル重視という意識があるので、啓発等で意識改革をしていきたい。

事務局 校区での献血事業について、今後もご尽力いただければと思って

いる。

委員 放射能に対する市民の反応はどうか。

事務局 市民からの放射能についての相談を保健所で受けている。
以前、汚染された牛肉が販売されたということで不安を持つ人も多かったが、保健福祉局で状況を説明し、対応したところである。
現在は、福岡においてはあまり心配する状況はないと思われる。

議題5 健康づくりセンター見直し委員会提言について

議題6 「健康日本 21 福岡市計画」次期計画策定について

(質問・意見)

委員 福岡市の衛生連合会の組織は各校区にあるが、3つのタイプがあり、自治協議会と衛生連合会が一体となって取り組んでいるタイプ、ケースバイケースで協力して取り組んでいるタイプ、取り組みに消極的なタイプとがあるので、自治協議会への働きかけを行って欲しい。

次の「健康日本 21 福岡市計画」では全市版だけでなく、地域版の計画も必要ではないか。地域としてもっと具体的な目標を掲げて、組織、体制の問題を整えて取り組んでいったらどうかと思う。

現在、博多区南部6校区でメタボリックシンドロームについて、認知度は上がっているが、健診受診率を上げるべく連絡会等で取り組んでいければと思っている。そして、他の地域にも広げて行きたいと思う。

委員 地域での健康づくりについて、衛生連合会、自治協議会、食生活改善推進員協議会があるが、三者が一緒に取り組んでいける活動ができればいいと思う。

委員 今のお話を七区の自治協議会の会長会議の議題としてあげ、各区の会長に説明していく。